

# 技術交流情報



令和3年12月20日

## 【技術成果の展開】「北陸技術交流テクノフェア2021」への出展

原子力機構が進める技術成果の展開を皆様に広く知っていただくため、毎年様々なところでブース展示をしております。今回は、「北陸技術交流テクノフェア2021」への出展についてご紹介します。

「北陸技術交流テクノフェア2021」が10/21～22に福井県産業会館で、また関連する画像や動画の紹介が10/4～11/30にWeb展示会で開催されました。テクノフェアでは機構の成果普及の取組みと共に、技術や特許等を活かして企業と共同開発した製品を展示しました。

「技術相談」で企業の課題解決を支援した製品として、レーザー照射技術を活用してべっ甲柄に着色したメガネフレーム、放射線照射技術を活用した成長促進剤を用いてコケを栽培した商品「ふりこけサッサ」等を紹介しました。コケを実際に撒いて育成を楽しむミニ鉢植えの実演も行い、多くの参加者ににぎわいました。

また「技術課題解決促進事業」で開発した製品として、全面マスクの専用オプションとしての遮光パーツ、悪路や高線量区域で移動できる多脚（クモ型）ロボット等を紹介しました。

隣の「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点（スマデコ）」のブースでは、廃止措置工事に参入する企業の技術力向上を支援し、廃止措置の課題解決に貢献する取組みを紹介しました。



機構の技術や特許等を活かして企業と共同開発した製品の展示



商品化された「ふりこけサッサ」を来場者に説明



悪路や高線量区域で移動できるロボットに関心を寄せる来場者

その一つであるバーチャル空間で作業手順等を検討するための複合現実感（MR：Mixed Reality）システムでは、多くの参加者が体験され、好評な様子でした。

今回のテクノフェアでは、2日間でおおよそ300名の来場者が機構のブースを訪れ、企業の方から会社が抱える課題の相談をいただいたり、学生の方が機構の取組みに興味を持っていただいたりと、盛況なうちに展示会が終わりました。



ふげんの現場を体験できる複合現実感システム（MR）

